

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-1

5-Ⅱ-1

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	伝統文化保存団体との連携
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市社会教育課
事業(施策)名	1 伝統文化保存団体連絡会議	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡文化財団
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 島内の伝統文化の振興に向けて、関係団体の連携体制強化を図る。 【事業内容】 ○ 伝統文化の効果的な情報発信や振興に係る課題の共有に向けて、島内の伝統文化保存団体や佐渡金銀山関連団体等による連絡会議を開催する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 伝統文化保存団体(民謡団体・人形芝居団体)の連携協力体制の構築(組織化)		
これまでの取組実績	○ 佐渡民謡保存団体の活性化、連携強化を図るための取り組みとして、保存団体が一堂に会するイベントとして「佐渡民謡の祝祭」をH28年度より実施した。 - 第1回佐渡民謡の祝祭 H28.10.2 - 第2回佐渡民謡の祝祭 H29.10.8 - 第3回佐渡民謡の祝祭 H30.9.22 - 第4回佐渡民謡の祝祭 R1.9.22 (令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。) - 第5回佐渡民謡の祝祭 R4.7.3 - 第6回佐渡民謡の祝祭 R5.8.20		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 佐渡の伝統芸能である佐渡民謡を普及啓発するため、7回目となる「佐渡民謡の祝祭」を開催する。 ● 重要無形民俗文化財である「佐渡の人形芝居」の保存団体を一堂に会した「人形芝居上演会」を開催する。 【R6年度実績】 ● 令和6年11月17日(日)に第7回佐渡民謡の祝祭を開催し、佐渡民謡を広く発信した。 ● 令和6年11月10日(日)に佐渡人形芝居保存会定期公演を開催した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・B・C] ◇ 民謡団体については組織化までには至らなかったものの、連携協力体制の構築は着実に進んでいる。また、人形芝居保存団体については、令和4年度に市内の各人形座で構成する「佐渡人形芝居保存会」として十数年ぶりに定期公演を復活させ、継続して定期公演を実施するなど、取組の効果が出ている。		
課題	■ 団体同士の連携を強化させていく取組みを継続することに加え、佐渡の多様な伝統文化保存団体が課題を共有できるネットワーク化が必要である。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。